

地域医療連携だより

H26.7
第32号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp>



地域医療機関の先生方へ：病院長就任のご挨拶

地域に根ざす、『患者目線』の先進医療を目指して

病院長 難波光義



開院以来 42 年になる兵庫医科大学病院は、年間約 2 万人の新入院患者さん（入院延べ患者総数は約 30 万人）に対応しています。うち手術数は 1 万件を超えました。1 日平均約 2,100 人の外来患者さんを診療（外来延べ患者総数は 58 万人）しています。^{(*)1}

平成 25 年春に稼働をはじめた急性医療総合センターには、救命救急センター、手術センター、周産期センター、ICU、IVR センターなどを集約し、先進医療の迅速で効率的な展開を可能にするとともに、災害拠点病院としての機能もより強化しました。

院内には 35 の診療科とともにがんセンター、放射線医療センター、肝疾患センター、IBD（炎症性腸疾患）センターなど 30 の中央診療施設が存在し、高度医療を提供しています。

阪神南医療圏域の医療機関とも密接に連携した病院機能を発揮しており、地域の先生方や関連医療職の方々との良好な連携により、平成 25 年度の紹介率は 72.1%、逆紹介率も 63.2% と全国大学病院の中でトップクラスの高成績を達成させて頂いております。まさに地元の先生方との『二人主治医制』を実現しながら、先進医療を提供できる地域中核病院となったことを誇りといたしております。

今後さらに患者さんご家族の満足度を高めるため、各診療科、各職種間でより強固なチーム医療を実践し、病院全体が一つになって機能できる体制を目指していきます。また患者さん自身が、ご自分の病気や治療の内容を十分に理解した上で積極的にご自身の医療に参画していただけるよう、患者さんと病院職員との良好なコミュニケーションを実現してまいります。^{(*)2}

地域の皆様方に信頼されながら高品質な先進医療を具現化し、患者さんの悩みや苦しみに対して共感をもって対応できる、そのような『優しさ』を兼ね備えた『患者目線』の大学病院を目指して前進していきたいと考えています。

(*)1 患者数等はいずれも平成 25 年度年間実績

(*)2 病院の診療内容についての詳細は、兵庫医科大学病院 一医療最前線一（2014 年 4 月、バリューメディカル社）をご覧ください。

地域医療機関の先生方へ：地域医療・総合相談センター長就任のご挨拶

地域との顔が見える関係を目指して

地域医療・総合相談センター長 西 信一



本年4月から地域医療・総合相談センターを担当しております副院長の西 信一です。私は、専門が集中治療医学（ICU）の麻酔科医です。「ICUとはどういうところですか？」と尋ねられた時、「病院のセーフティーネットです。」とお答えする場合があります。どちらかという内に向いた顔を持つ者が、まさしく外に向けた顔である地域医療を担当できるのか？という懸念を、当然もたれることと存じます。

当院は特定機能病院である一方、民間病院でもあります。特定機能病院の役割は、高度先進医療・急性期医療を適切に、滞りなく行うことであります。このためには、いわゆる縦割りではなく、民間病院の特徴を十分活かしつつ、より質の高い急性医療を地域へ提供することが、急性期医療に専従してきた私が地域医療を担当することへの病院長の期待に他ならない、と理解しております。とはいえ、これまで外に向けた顔を持たなかったことも事実であり、副センター長をはじめスタッフには、しっかりと脇を固めるようにサポートする体制を敷きました。

「チーム医療」という言葉は昨今のキーワードであります。また、平成26年度診療報酬改定では「地域包括ケア」という文言も重要なキーワードです。地域医療機関の先生方のご協力で、広い意味での「チーム医療」を実践し、「地域包括ケア」における当院の役割も十分に果たせるよう努力致す所存です。

当院は本年4月より太城病院長から難波病院長に替わりました。難波病院長からは、地域医療・総合相談センターは「地域医療機関の先生方の顔が見えるような活動をするように」と厳命されており、今後はこちらから出向いてお話しする機会もあるかと存じます。先生方におかれましては、当センターをお気軽に御活用頂ければ幸甚です。また、当院に対する忌憚のないご意見を多くお寄せ頂きたいと存じます。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

地域医療機関の先生方へ：地域医療課からのご挨拶

今後の地域医療連携について

病院事務部 地域医療課長 春木 敏弘

地域医療課は、地域の医療機関からの紹介患者さんの診療予約などの病診・病病連携に関する業務、紹介・逆紹介を円滑に行うための医療機関の情報収集、提供等、患者さんからの診療に関する対応を行っています。まだまだ地域の先生方のご要望にお応えできていない点が多々ありますが、地域連携におきましては迅速対応、より一層の顔が見える関係づくりに努めてまいります。

また、地域連携の新たな取組みとして当院は阪神南北医療圏域の7市1町の医師会、医師会に属する医療機関、自治体がひとつになって地域の住民の皆様の健康と医療をサポートする「阪神医療福祉情報ネットワークシステム h-Anshin むこねっと」に参加しております。2014年4月より本稼働となった当該システムは患者さんのプライバシーを厳重に保護しながら、当ネットワークを介して参加医療機関と当院とで患者さんの検査結果などの情報を共有し質の高い安心な診療の提供を目的としております。(詳しくは<http://www.mukonet.org>をご参照ください。)

h-Anshin むこねっとを利用すれば、患者さんに同意をいただだけで当院と地域医療機関との間で診療情報の共有化が図れます。是非ネットワークへのご参加を検討いただきますようお願い申し上げます。

開催報告：兵庫医科大学病院 第 14 回地域医療懇談会

病院事務部 次長（地域医療担当） 香 月 孝 幸



平成 26 年 6 月 7 日（土）午後 4 時から、ノボテル甲子園において第 14 回地域医療懇談会を開催しました。当院から理事長、病院長および地域医療・総合相談センター長が挨拶、兵庫県医師会から川島龍一会長にご挨拶をいただき、前半の懇談会（講演会）と後半の懇親会（情報交換会）の 2 部構成で、主に阪神地域を中心とした医師会、医療機関から医療関係者 115 名に兵庫

医科大学関係者 53 名を加えた計 168 名が参加、盛会のうちに開催することができました。ここに感謝をもちましてご報告申し上げます。



I 懇談（講演）会



1 脳卒中治療の最前線

脳神経外科診療部長 吉村 紳一

「敵を知り、己を知れ、危うきを避け、薬を煎じ、術を使へ」の五条で脳卒中にならないコツの紹介、兵庫医科大学病院における未破裂動脈瘤に対するコイル塞栓術などの予防手術、脳梗塞に対する tPA 静注療法や血管内治療の最前線について説明しました。



2 炎症性腸疾患 診療の最前線（外科）

炎症性腸疾患外科診療部長 池内 浩基

潰瘍性大腸炎及びクローン病に対する手術について兵庫医科大学の現状を解説しました。内科的治療の進歩、手術適応年齢、高齢者手術症例、最新術式の紹介、さらに発癌との関係、内瘻や人工肛門造設といった症例の紹介がありました。



3 炎症性腸疾患 診療の最前線（内科）

炎症性腸疾患内科診療部長 中村 志郎

潰瘍性大腸炎及びクローン病の病態（腸病変の特徴）と兵庫医科大学における動向について解説があり、内科治療の歴史・進歩と治療指針の変遷、当院における治療状況と地域連携について、幅広く解説しました。

II 懇親会

懇談会終了後の懇親会にも多数のご出席をいただきました。本学学長による開会の辞に引続き、西宮市医師会から次期会長の大江与喜子副会長に乾杯のご挨拶とご発声をいただき、和やかな雰囲気の中、皆様にご歓談いただきました。最後に当院副院長の閉会の辞で終了いたしました。



診療科紹介

総合診療センター

総合診療センター長 森本 剛



■ 特色

兵庫医科大学病院は特定機能病院として高度で専門性の高い医療を提供しています。一方で、最初に受診する診療科が適切でない場合は、患者さんの不利益にもなり、医療資源の無駄にも繋がります。そこで、受診すべき診療科が明らかではない患者さんの診断及び初期診療を安全かつ効率的に行う専門部門として総合診療センターが設立されました。

総合診療センターでは、患者さんの症状を詳細にお伺いし、全身の診察を行い、様々な領域の病気の可能性を詳細に検討した上で、必要な検査や初期治療を行います。専門的な検査や治療が必要と判断されれば、専門診療科に紹介いたします。

■ 診療実績

受診すべき診療科が明らかではない患者さんの診断と初期診療を行います。

専門診療科での診療が必要な患者さんは、専門診療科への紹介を行いますが、緊急性がない場合は翌日以降の紹介となることがあります。

総合診療センターは、継続的な外来診療を行っておりません。生活習慣病の投薬等の継続的な外来診療が必要な場合は、お近くのかかりつけ医に紹介いたします。

総合診療センターでは入院治療を行っていません。

■ スタッフ紹介

役職	医師名	専門分野	学会認定医・専門医・指導医
センター長/教授	森本 剛	一般内科	日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
講師	團野 大介	一般内科	日本内科学会総合内科専門医、日本病院総合診療医学会認定医、日本化学療法学会認定医、日本頭痛学会専門医、日本血液学会血液専門医
講師(臨床栄養部)	肥塚 浩昌	一般内科 消化器疾患	日本消化器内視鏡学会専門医、日本医師会認定産業医
助教	太田 好紀	一般内科	日本内科学会認定医、日本救急医学会救急科専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔科専門医

■ 地域医療機関の先生方へ

総合診療センターでは、主に紹介状のない内科系初診患者を診療しているため、日によって大変混雑します。従いまして、総合診療センターにご紹介頂く場合は、できるだけ地域医療・総合相談センター経由でお願いいたします。

また、総合診療センターでは臨床実習生、臨床研修医に系統的な外来教育を行っております。医学教育へのご理解とご協力をお願いいたします。



病棟/部門紹介

診療支援課外来サービス係

診療支援課 (外来サービス係)

平成23年8月に行われた病院事務部内の組織改編に伴い、医事課の業務のうち、請求業務を医事課、受付部分の運営管理業務を診療支援課と分掌し、新設されました。

外来サービス係の業務としては「外来診療に関すること」を主に運営管理を行っています。各受付における新患・予約なし再診患者さんの受付対応、診断書・証明書等の処理(患者さん等からの預かり、医師への依頼、記入後の処理)、院外、院内の電話対応などといった、患者さんに対するいわゆる初期対応を担っています。

担当部署としては、脳神経外科や整形外科をはじめとする34の外来診療科を17の受付で対応し、これとは別に生理機能検査受付や検体検査受付などの11の検査部門(センター)の受付を担当しています

係員は、仕事の対象が「人」であり、その人が精神的不安、身体的苦痛をもって訪れる弱い立場の患者さんであるということを常に意識し、患者サービス向上の方針のもと、親切・丁寧を心がけて可能な限り患者さん最優先で業務に取り組んでいます。